

公益社団法人 富山県医師会
会長 馬瀬 大助 様

平成29年10月6日

富山市
福祉保健部 保健所保健予防課
結核・感染症係
電話 428-1152 (直通)

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について

平成29年10月5日、市内の医療機関から富山市保健所へ麻しんの発生届出がありました。

この届出に基づき、本市保健所で患者について調査を実施したところ、当該患者は、9月13日に入国された方で、感染の可能性がある時期に、下記都府県に滞在していたことが判明しました。

当該患者が滞在した先で当該患者と接触した方は、麻しんに感染している可能性がありますので、広く情報提供するものです。

記

1 患者の概要

9月13日に入国された20歳代女性（外国籍）

2 経緯

10月1日 発熱、発疹（顔）が出現。

10月5日 富山市内医療機関を受診したところ麻しん（臨床診断）と診断された。

10月6日 麻しんウイルスの検査の結果、陽性であった。

3 滞在先

9月13日 成田空港に入国

13日～15日 宮城県大崎市

15日～17日 青森市

18日～26日 群馬県邑楽郡千代田町

23日、24日、26日、27日 東京都渋谷区、千代田区

27日～29日 新潟県十日町市

29日 新潟県三条市

30日 東京都豊島区

9月30日～10月1日 愛知県刈谷市

10月2日 奈良市、京都市

3日～5日 福井県敦賀市

5日 富山市

5日～現在 宮城県大崎市

なお、各都府県間の移動は乗用車を利用していた。

4 市民の皆様へ

- ・前記月日、地域に滞在された方で、症状から麻しんが疑われる場合は必ず事前に医療機関に連絡のうえ、受診してください。
- ・受診の際は、周囲の方へ感染させないよう公共交通機関等の利用を避けてください。

5 医療機関の皆様へ

- ・発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの予防接種歴の確認等、麻しんの発生を意識した診療をお願いします。
- ・患者（疑い含む）は、個室管理を行う等、麻しんの感染力の強さを踏まえた院内感染対策を実施してください。
- ・臨床症状等から麻しんと診断した場合には、速やかに保健所へ届出ください。

【麻しんの症状と感染力】

- ・麻しんの感染経路には、空気感染、飛沫感染及び接触感染があり、極めて感染力が強いことが知られています。
 - ・初期症状は、発熱や咳・鼻水などの風邪症状や、目の充血、関節痛など様々な症状が出ます。一旦熱が下がった後、再び高熱が出ると同時に全身に発疹が出現し、4～5日高熱が続きます。
 - ・潜伏期は10～12日程度。合併症がない限り、7～10日程度で回復します。
 - ・上記の風邪症状が出現する1日前から解熱後3日後程の期間は、他人にうつす可能性があります。
- ※麻しんを疑う症状があり医療機関を受診する際には、あらかじめ電話で麻しんの可能性があることを伝え、医療機関の指示に従って受診してください。

<お願い>

患者等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されないことがないように、格段の配慮をお願いします。

【参考】麻しんの発生状況

年	H25	H26	H27	H28	H29
富山市	0	0	0	1	1 (本事例を含む)
富山県 (富山市含む)	0	0	0	1	1 (本事例を含む)
全国	229	462	35	159 (暫定値)	176 (9月27日現在)